

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公開番号】特開2007-226809(P2007-226809A)

【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2007-42657(P2007-42657)

【国際特許分類】

G 06 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月7日(2009.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータにより実行されるプリンタ記述ファイル生成方法であって、
非ポストスクリプト印刷装置のユーザが指定した特徴と前記印刷装置のプリンタ記述(PPD)ファイルとをネットワークを介して受け取る段階であって、前記ユーザが指定した特徴と前記PPDファイルはクライアントコンピュータから送られた段階と、

前記ユーザが指定した特徴に基づき、複数のファイル生成ツールの中から前記ユーザが指定した特徴に合致する1つのファイル生成ツールを選択する段階と、

前記ユーザが指定した特徴に基づき、複数のルックアップテーブルの中から前記ユーザが指定した特徴に合致する1つのルックアップテーブルを選択する段階と、

前記PPDファイルと前記1つのルックアップテーブルを前記1つのファイル生成ツールの入力として供給する段階と、

ネットワークを介して前記クライアントコンピュータに、前記PPDファイルと前記1つのルックアップテーブルに基づいて前記1つのファイル生成ツールが自動的に生成したカスタムプリンタ記述ファイルを送る段階と、を有し、

前記PPDファイル中の各ポストスクリプトコマンドに対して、前記カスタムプリンタ記述ファイルは、ポストスクリプトコマンドがポストスクリプトプリンタに実行させる動作を前記印刷装置に実行させる対応する1つ以上の非ポストスクリプトコマンドを有し、

前記1つのルックアップテーブルは、前記PPDファイルに示された前記印刷装置の機能とオプションの間のマッピングと、前記機能とオプションに対応する非ポストスクリプトコマンドとを有する、方法。

【請求項2】

コンピュータにより実行されるカスタムプリンタ記述ファイル生成方法であって、
ポストスクリプトプリンタ記述(PPD)ファイルと変換データとに基づき、前記カスタムプリンタ記述ファイルを自動的に生成する段階を有し、

コンピュータは、前記カスタムプリンタ記述ファイルに基づき、第1の印刷データストリームを第2の印刷データストリームに自動的に変換でき、

前記第1の印刷データストリームはポストスクリプト印刷装置に動作を実行するよう命じる第1のコマンドを含み、

前記第2の印刷データストリームは非ポストスクリプト印刷装置に前記動作を実行する

よう命じる第2の非ポストスクリプトコマンドを含み、

前記第2のコマンドは前記第1のコマンドに対応する、方法。

【請求項3】

前記非ポストスクリプトコマンドはプリンタコマンド言語(P C L)コマンドである、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記非ポストスクリプトコマンドはプリンタジョブ言語(P J L)コマンドである、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記第1のコマンドと前記第2のコマンドは印刷装置に指定した両面設定を用いて文書を印刷するように命令する、請求項2に記載の方法。

【請求項6】

前記第1のコマンドと前記第2のコマンドは印刷装置に指定した出力トレイに印刷した文書を出力するように命令する、請求項2に記載の方法。

【請求項7】

前記第1のコマンドの1つ以上は前記非ポストスクリプト印刷装置には理解できない、請求項2に記載の方法。

【請求項8】

前記カスタムプリンタ記述ファイルを自動的に生成する段階は、

前記ポストスクリプトプリンタ記述ファイルから機能を読み出す段階と、

前記ポストスクリプトプリンタ記述ファイルから前記機能に関連するオプションを読み出す段階と、

前記変換データ中の前記オプションにマッピングされた非ポストスクリプトコマンドを決定する段階と、

前記ポストスクリプトプリンタ記述ファイル中の前記オプションに関連するポストスクリプトコマンドを前記非ポストスクリプトコマンドで置き換える段階と、を有する、請求項2に記載の方法。

【請求項9】

前記カスタムプリンタ記述ファイルを自動的に生成する段階は、拡張された P P D ファイルを生成する段階を有する、請求項2に記載の方法。

【請求項10】

前記カスタムプリンタ記述ファイルを自動的に生成する段階は、 F o o m a t i c 拡張された P P D ファイルを生成する段階を有する、請求項2に記載の方法。

【請求項11】

ネットワークを介してクライアントから前記ポストスクリプトプリンタ記述ファイルを受け取る段階と、

ネットワークを介して前記クライアントに前記カスタムプリンタ記述ファイルを送る段階とを更に有する、請求項2に記載の方法。

【請求項12】

前記非ポストスクリプトコマンドはジョブ定義フォーマット(J D F)コマンドである、

請求項2に記載の方法。

【請求項13】

前記非ポストスクリプトコマンドはポータブルジョブチケットフォーマット(P J T F)コマンドである、請求項2に記載の方法。

【請求項14】

前記非ポストスクリプトコマンドはジョブ制御言語(J C L)コマンドである、請求項2に記載の方法。

【請求項15】

前記第1のコマンドと前記第2のコマンドは印刷装置に指定した入力トレイからの媒体

を用いて文書を印刷するように命令する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 16】

前記第1のコマンドと前記第2のコマンドは印刷装置に印刷した文書にステープル機能を使用するように命令する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 17】

前記第1のコマンドと前記第2のコマンドは印刷装置に印刷した文書にパンチ機能を使用するように命令する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 18】

前記第1のコマンドと前記第2のコマンドは印刷装置に指定したカラー モードで文書を印刷するように命令する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 19】

前記第1のコマンドと前記第2のコマンドは印刷装置に指定した解像度で文書を印刷するように命令する、請求項 2 に記載の方法。